

令和5年度 愛媛県立松山東高等学校通信制課程 後期入学式式辞

秋が実感されていく10月、本日、この佳き日に、令和5年度愛媛県立松山東高等学校通信制課程の入学式を挙行できますことは、私たちにとって、大きな喜びでございます。

ただ今、入学を許可いたしました新入生の皆さん、御入学、おめでとうございます。本校では、昨日、前期卒業式が行われ、23名の生徒の皆さんを送り出しました。少し寂しさを感じていたところ、本日、69名の皆さんをお迎えすることができ、心からうれしく思います。

今年の8月、本校生の生活体験発表が行われ、8名の生徒が、自分の経験や思いを発表してくれました。人間関係の苦労や、学習に関する不安、これまでのいろいろな困難を、友人や先生方、御家族に支えられて乗り越えてきた自分の今の思いを、しっかりと伝えてくれました。その発表を聞いた生徒の皆さんからは、「不安を抱えているのは自分だけではないんだと実感できた」「私は、自分の力だけで頑張ろうとしてきたが、皆さんの発表は周りの人の支えに目が向けられていた」といった感想が寄せられました。本校は、「ひとりじゃないんだ、がんばろう」をモットーにしています。サークル活動でも、全国的に活躍している先輩がおられます。どうか、仲間や先生方とともに、本校での生活を充実したものにしてください。

皆さんの入学に当たって、お願いしたいことを二つ述べます。

一つめは、本校での学びを通して、自分をしっかり理解し、他の人たちとつながるためのものを見つけてほしい、ということです。

本校出身のノーベル文学賞作家、大江健三郎さんは、障がいのある御自身のお子さん、光さんの学校生活を通して、学校で学ぶ教科や、友人との関わりは、「自分の心の中にある深く豊かなものを確かめる」ためのものであり、「その深く豊かなものを他の人に伝え、社会につながっていく」ためのものだと述べておられます。

繰り返しますが、本校での学び、出会いと経験を通して、自分をしっかり理解し、他の人たちとつながるためのものを見つけてください。

二つめのお願いは、豊かな人間性を身に付けてほしい、身の回りにいる人やお互いを思いやる心を育ててほしい、ということです。人と意見が食い違うとき、その意見を排除するのではなく、思いやりの心を持って、皆が納得できる答えを一生懸命見つけてほしい、その努力を通して、豊かな人間性を持った、優しい、信頼される人間になるのだと思います。

保護者の皆様、お子様の御入学、おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。私たち教職員一同は、本日からお子様をお預かりし、先ほど述べた二つのお願い、自分をしっかり理解し、他の人たちとつながるものを身に付け、社会へと羽ばたいていけるよう、また、思いやりの心を持ち、「豊かな人間性」を身に付けられるよう、精一杯、努めてまいります。本校の教育活動に対しまして、御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新入生の皆さん、皆さん一人一人が、新しい友人、よい仲間や先生方との出会いに恵まれ、豊かに成長されることを期待して、式辞といたします。

令和5年10月1日

愛媛県立松山東高等学校長 沖田浩史